職務経歴書

候補人材：SM2

2026 年 3 月 24 日

業務経歴

年次	業務内容
1982	第一工業製薬株式会社入社 研究開発部門に配属
1982～1987	アクリル系水溶性高分子の創製検討 材料：（メタ）アクリル酸、（メタ）アクリル酸エステル、アクリルアミド等 用途：水系分散剤、増粘剤、ニューセラミック用バインダー、導電処理剤など 現在も一部の製品は販売中
1985～1990	米国 U 社（当時の社名）と塗料添加剤の開発プロジェクト 材料：水系ウレタン樹脂 用途：水系塗料用会合性増粘剤 現在販売中
1990～1998	ポリマーアロイの研究：通常では均一に混合できない異種のポリマーを均一分散させるための添加薬剤の開発 永久帯電防止剤の研究：永久に帯電しない樹脂を作るための添加薬剤の開発 薬剤の骨格・組成の検討から始め、工場の立上げ、生産、市場開発まで実施
1998～2001	新規事業開発部 樹脂エマルジョンの研究開発、エマルジョン粉末の創製、新規難燃剤の研究開発 新規難燃剤を除きその他のテーマは事業化に至らず
2001～2009	自動車塗料用水系ウレタン樹脂の研究開発 当時自動車メーカーで進められていた塗料の水系化に対応するために自動車塗料に特化した水系ウレタン樹脂の研究開発を担当者、マネージャーとして参画 新規製造工場の立上げを実施 日本の大手塗料メーカーに納入継続中
2005～2009	新規事業創製のための研究開発 下記の新規事業に関わる研究開発マネージメントを担当 医薬原薬：海外製原薬を国内製薬会社向けに販売 工場を建設、GMP 活動 高分子医薬：R 社グループと新規医薬を創製・製造するための検討を実施 セルロースナノファイバー：T 大学の技術を導入し、共同研究を実施 生産設備を建設し商品化 化粧品用途、水性インク用途に現在販売中 フィルムコーティング剤：液晶ディスプレー用フィルムのプライマーを開発 現在販売中
2009～2011	開発部、水系ウレタン営業部長 主に水系ウレタン樹脂全般の営業活動
2011～2013	樹脂材料営業部長 主な取扱い商品：ウレタン樹脂、水系ウレタン樹脂、難燃剤、合成潤滑油など

年次	業務内容
2013～2014	中国での合成潤滑油生産プロジェクト 2015 年天津浜海新区倉庫爆発事故によりプロジェクトは中止
2014～2016	四日市合成株式会社出向 常務取締役 研究部長
2016～2022	四日市合成株式会社出向 常務取締役 営業部長
2022～2024	第一工業製薬株式会社帰任 管理本部 DKS チャレンジセンター
2025～現在	公的産業支援機関 マッチングナビゲーター

指導可能な技術領域

（1）合成関係

- ①高分子合成反応
  ラジカル重合：アクリルモノマーの熱重合反応
  光重合：アクリルモノマーの UV 硬化
  重縮合反応：ポリエステル等の合成反応
  重付加反応：エチレンオキサイド、プロピレンオキサイド等の開環重合反応
  ポリウレタン合成、エポキシの合成
- ②高分子変性
  高分子（ポリマー）への各種官能基の導入反応
- ③セルロース関係
  セルロースへの各種官能基の導入（カルボキシメチル基、アルキレンオキサイド基など）
  セルロースナノファイバーの合成

（2）応用評価関係

- ①界面活性剤の利用技術
  全般
  乳化、可溶化、洗浄などについて
- ②塗料・インキ
  顔料分散技術、粘性コントロール、塗装性能、ハジキ防止など
- ③フィルムコーティング
  界面活性剤や機能性樹脂を用いてのフィルム表面の改質（撥水・撥油等）、密着性向上、官能基の導入など

- ④金属表面処理
  精密洗浄、表面改質、塗装など

（3）製造装置関係

- ①重合装置全般
  ラジカル重合、アルキレンオキサイド付加反応装置
- ②乳化機
- ③分散機
- ④高粘度物質の攪拌装置
- ⑤マイクロリアクター